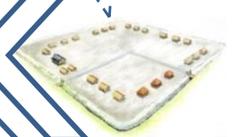




恒川 NEWS

ゴング ニュース

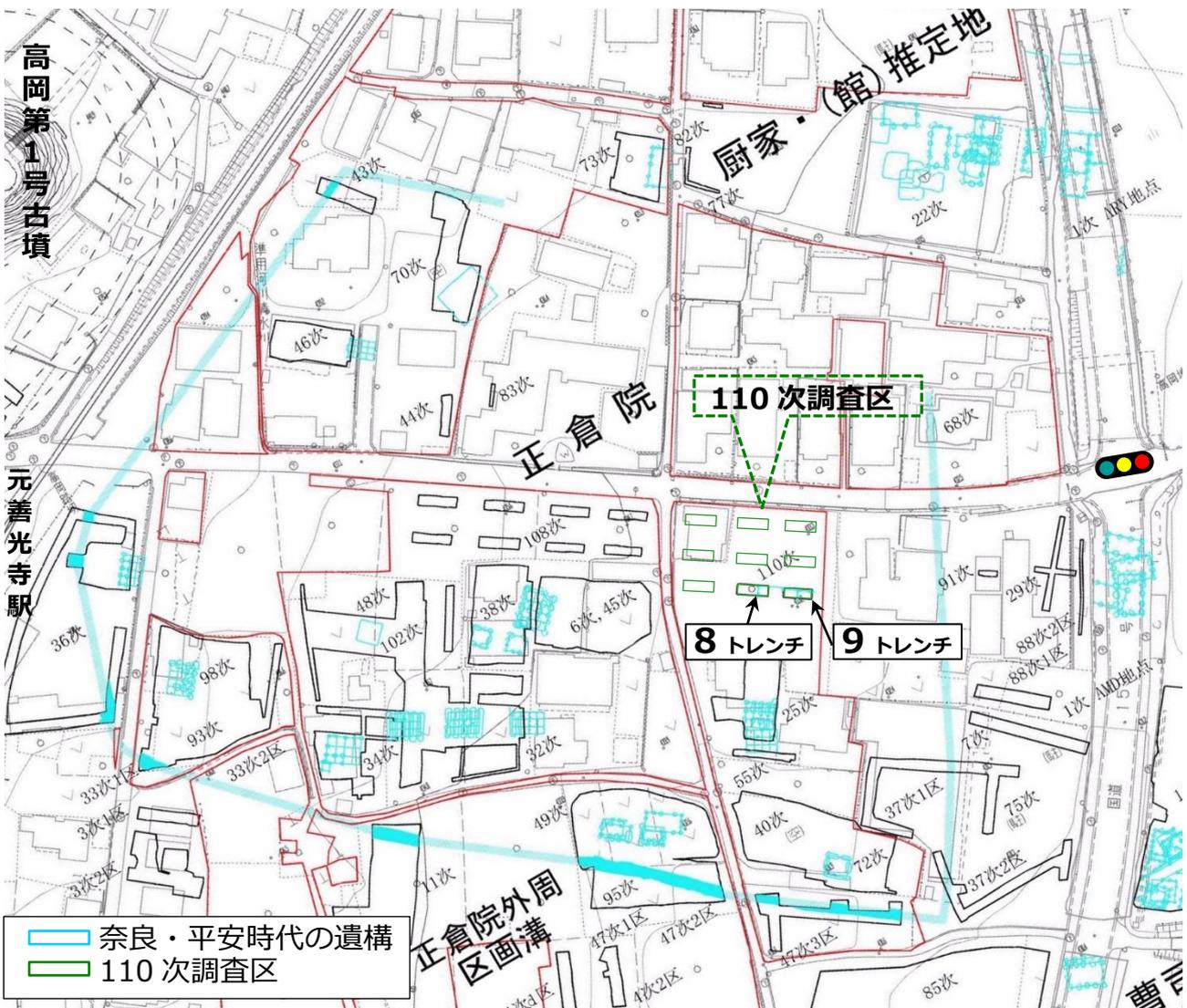


令和3年度発掘調査が終了しました！

110次調査の主な成果

- 掘立柱建物が見つかりました（遺構番号 SB008・SB009）
- 墨書土器等が出土しました
- ～番外編～ 古墳時代の超大型の竪穴建物が見つかりました（遺構番号 SI013）

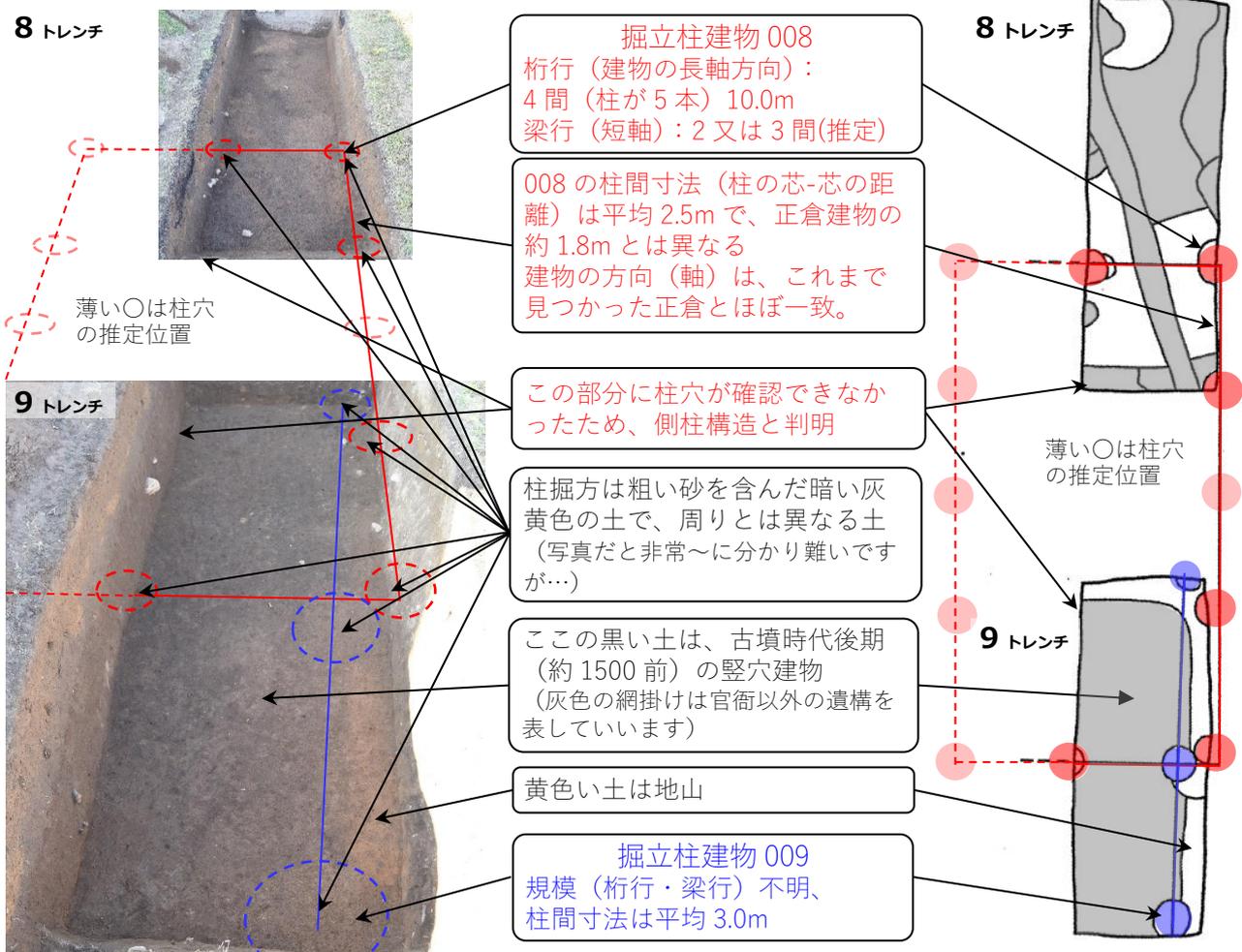
今後出土遺物を洗浄して観察し、周辺の調査状況や全国的な事例と比較して詳しく検討する必要がありますが、現時点での考察等について順次紹介していきます（裏面）。



110次調査区位置図

掘立柱建物が見つかりました！

- 8・9 トレンチに跨って円形の穴が多数確認され、ほぼ等間隔で規則的に配置されており、掘立柱建物の跡と考えられます。
- 8・9 トレンチの写真・図を下に掲載しました。
- 破線又は網掛けの○は、柱掘方（柱を埋めるために掘った穴）の位置を、直線は柱の芯と芯を結んだ線になり、実際の建物の規模を表しています。
- 建物の壁となる外側部分にしか柱がない「側柱」構造で、全面的に束柱が並ぶ「総柱」構造の正倉建物とは異なります。
- 類似する建物は、官衙域の東側（22次）、正倉院の南西側（49次）等で確認されており、それぞれ館・厨、正倉院の管理棟などの役割が考えられています。
- 古墳時代後期（約1500年前）の竪穴建物（住居）の上に建てられているので、それよりも新しい時代の建物です。それ以上の詳しい時代を示す根拠はありませんが、これまでの調査事例から中世（鎌倉時代以降）まで下るものではありません。
- 正倉院の中であるので正倉院の管理棟、或いは、律令制度が崩れ正倉院が縮小した段階でこの場所に侵入してきた官衙関連の建物と考えられます。



恒川まいにち見学会！

恒川官衙遺跡の発掘調査では、現場のようすを直接ご覧いただけます。お立ち寄りください。

- ・平日 10時～14時
 - ・土日祝祭日・雨天等休み
 - ・現地スタッフが直接解説します。
- なお、天候等の都合により、立入りをご遠慮願う場合もございます。

令和4年5月再開予定！

史跡恒川官衙遺跡調査速報 31

令和4年4月15日発行
飯田市教育委員会
文化財保護活用課 文化財活用係
調査担当者：羽生俊郎
TEL：0265-53-3755
E-MAIL：bunkazai@city.iida.nagano.jp
HP：https://www.city.iida.lg.jp/site/bunkazai

